

【安全管理】

③MRSA感染率・罹患率

【計測対象】

MRSA感染率 分子：感染症患者数

分母：総入院患者数

MRSA罹患率 分子：新規感染症患者数

分母：総入院患者数－継続感染症患者

【解説】

MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)の院内感染は、不適切な抗菌薬の使用や汚染された手指や器具を通して接触伝播することで発生するため、本指標は院内の感染制御の状況を示しています。

当院では2018年から2020年度にかけて増加傾向をしめしていたが、2019年度には大幅減少が認められた。ICTにおける感染対策やASTにおける抗菌薬適正使用を呼びかける活動が徐々に効果として現れている。今後もICTやASTが中心となり、院内感染対策や抗菌薬適正使用を注視しMRSAのみならず、AMRで対象となっている耐性菌の抑制に努めていきます。

